

小野雅楽会



百二十八年の合



The 128th Concert of Ono Gagaku Society : Tokyo Opera City Concert Hall : Thursday, April 9, 2015

第一部

管絃

盤渉調音取 (バンシキョウノネトリ)

青海波 (セイガイハ)

蘇莫者破 (ソマクシャノハ)

第二部

舞楽

振 鉦 (エンブ) 二節

賀 殿 (カテン)

八 仙 (ハッセン)

2015年

4月9日(木)

開演 19:00 ・ 開場 18:30

東京オペラシティコンサートホール

チケット

4,000円 [全席指定]

東京オペラシティチケットセンター

PHONE 03-5353-9999

お問い合わせ：小野雅楽会

PHONE 03-3873-2780

主催：小野雅楽会

小野雅楽会 百二十五年創

第一部 管絃

盤涉調音取 (バンシキチョウノネトリ)

演奏に先立ち各楽器の音頭により奏されるもので、楽器の音調を整えると同時に、盤涉の調子に相応しい空間へと清め整える意味合いをもつ小曲です。

青海波 (セイガイハ)

天竺にて婆羅門僧正が聞き、伝えたという。元は平調であったが、盤涉調に遷された。(渡物として黄鐘調にもある。) 盤涉調の代表的な曲であり、旋律の美しさと流れの優雅さがあり、打ち物は千鳥懸 (チドリガケ) という特殊な奏法で面白い。

蘇莫者破 (ソマクシャノハ)

早只八拍子という軽快感のある曲であるが、落ち着いたきのある名曲。難易度は高い。

第二部 舞楽

振銚 (エンブ) 二節

天地の神々と先祖の霊に奉じて国土安穩・雅音成就を祈り、舞台を清める演舞で、奉祝のための儀式として舞楽会のはじめに舞われます。

賀殿 (カテン)

舌越調子・笛音取の後、道行として迦陵頻急を奏し出手をして破・急と演奏する。帰りは重吹。大変優雅な舞振りであり、片方の肩を脱いで舞い、芽出度さを品良く充分に醸し出す舞振りである。

八仙 (ハッセン)

別名「鶴舞」という。高麗楽の旋律に乗りゆったりとした平舞の振りであるが、四人が相手の袖を持ちながらスクエアダンスのような舞振りが面白い。



「百十五年の会」、東京オペラシティコンサートホール

小野雅楽会プロフィール



1972年 第1回アメリカ公演を皮切りにアジア・ヨーロッパ・オセアニアにて公演活動を展開している。近年は毎年公演の機会に恵まれ、雅楽のもつ芸術性と日本文化の中で完成された歌謡等の素晴らしさを広範に伝えている。国内にても公演活動・教授活動や新作活動と広範に活動している。台東区無形文化財にも指定されている。



交通のご案内

京王新線 (都営地下鉄新宿線) 初台駅東口・・・徒歩 5分
小田急線参宮橋・・・徒歩 14分
都営地下鉄大江戸線・西新宿 5丁目駅 A2 出口・徒歩 14分

渋谷駅よりバスにて・・・徒歩 20分
京王バス〈渋 63〉〈渋 66〉・・・東京オペラシティ南下車
都営バス〈渋 66〉・・・東京オペラシティ南下車
京王バス〈渋 61〉〈渋 64〉・・・東京オペラシティ 下車

お車：山手通、甲州街道交差点角首都高速 4号線新宿ランプ